

2020つながりのまちづくり未来フォーラムにおける 市民協働条例3年ごとの振り返りについて

1 趣旨

つながりのまちづくり未来フォーラムは、自分たちのまちを自分たちで良くするため、これからの「まちづくり」や「協働」をさらに実りあるものに進化させる「考え方」や「手法」を学び合うことを目的に開催しました。

今回、市民協働条例3年ごとの振り返りをフォーラムの場で行いました。

2 開催日／会場

令和2年1月15日（水）17:00～20:30、横浜情報文化センター6F

3 参加者

計194人（NPO、企業、大学、市民活動団体、自治会町内会、行政等）

4 内容

(1) 市民協働条例の振り返り

市民局か3年間の条例施行状況について報告するとともに、市民協働推進に員会委員長と市民活動支援課長による振り返りトークを実施。

(2) 実践報告

ア 「ちょこっと子育てレスキュー隊」（協働事業の提案支援モデル事業）

イ 「大学生が住んでまちが変わるか!？」

ウ 「なくてはならない、ボランティア・プロボノの力」

エ 「協働ネクストステージ、未来に向けて」

(3) つながりトーク

(4) 情報交流タイム

(5) パネル展示、アンケートの実施



(つながりトーク)

(パネル展・アンケート)

5 アンケート結果の主な意見

- ・皆さんの活力ある活動と、人とのつながりを中心とした取組事例に勇気をもらった。
- ・何をしたら地域の役に立てるか全く分からない中で、具体の話が豊富でとても多くのヒントを得られた。
- ・子育て、地域、災害等、様々な課題に対応するためには、つながりが大切であり、協働することで可能になることもあると勉強になった
- ・つながりのまちづくりは、SDGsのゴール11「住み続けられるまちづくりを」に直結することに加えて、「誰一人として取り残さない」の目標を達成するための取り組みとして有意義だと思った。